

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡中央高等学校 通信制の課程	校長名	杉山 忍
------	----	-----	------------------------	-----	------

1 スクール・ミッション

県内唯一の公立通信制の課程を有する学校として、生徒が学習活動に主体的に取り組むための多様な支援をとおして、社会をつくる豊かな人間性・思考力・創造力を身に付けた、自立した人財の育成を目指す。

2 目指す学校

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
このような力を育てます (1) 主体的に考え判断し、他者と協働し行動する力 (2) 自分のよさや可能性を認識し、社会の中で表現できる力 (3) 多様な価値観や互いの人権を尊重し合い、命と心を大切にできる力 (4) 学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、努力し学び続ける力	このような教育活動を行います (1) 基礎学力の定着と多様なニーズに応える柔軟なカリキュラム (2) 「自学自習」を尊重し、生徒個々に合わせた丁寧な添削指導 (3) ICTを有効活用したわかりやすい学習指導 (4) 互いを尊重し合い、主体性や協調性を育む特別活動	このような生徒を求めています (1) 「高校を卒業したい」という強く明確な意志を持つ生徒 (2) 自ら計画し、自ら学び、自ら行動することができる生徒 (3) マナーを大切にし、ルールを守ることができる生徒 (4) 他者を認め、尊重することができる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

(G=グラデュエーションP、C=カリキュラムP、A=アドミッションP)

ア 学ぶ喜びを実感できる学習システム、教育課程の構築 (G1・4) (C1・2)

イ 有徳の人を目指し、社会の中で生徒が自己実現できるための指導と支援の実施 (G1・2・3) (C4)

ウ ICT、放送教育の活用、リモート等の新しい通信制での学びについての検討 (C3)

エ 広報活動の促進 (A1・2・3・4)

オ 教職員の資質向上、コンプライアンスの遵守及び働き方改革の具現 (G1・2・3・4) (C2・3・4) (A3・4)

3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	生徒の変化に対応した指導の在り方の検討	報告課題指導及び面接指導を生徒の実態に合わせて改善する 生徒が理解しやすい教科指導に取り組む 適切な観点別評価の実施と、課題の検証を行う	・単位修得率 50% ・新生生の1科目以上単位修得率 60%、 ・年度当初卒業予定者の卒業率 60% ・生徒アンケート「レポートの内容がよく理解できた」75% ・3キャンパス合同教科会議を年に3回程度実施	教務 各教科

様式第1号

	<p>生徒の学習環境の向上</p>	<p>多様な生徒に対応した学習環境の整備に取り組む</p> <p>生徒が一年を通じて学習を継続し、単位修得に至るための指導・支援方法を研究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点に基づく報告課題・補助プリント・掲示物等の改善を実施する。 学習用補助教材等の改善と、ICTを活用した配信方法を検討する 学習支援日を計画的に設け効率よく実施する。 スクーリング通信を月1回発行 昼の特別活動やメール配信の活用 	<p>教務情報</p>
	<p>生徒の学力向上に向けた指導方法の改善</p>	<p>レポート添削やスクーリングでの様子等から生徒の学力や困り感を的確につかみ、指導の検証、改善を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に基づき、面接指導の改善に取り組んだ教員90%以上を目指す。 	<p>全教職員</p>
<p>イ</p>	<p>すべての生徒に充実した支援を実施</p>	<p>特別な支援を必要とする生徒等の指導方法を充実させる</p> <p>教員間における生徒情報の共有を促進し、有効な支援につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な生徒の個別の指導計画を作成する。 中学校訪問（春）を実施し、新入学生徒の情報を収集する。 「生徒保健カルテ」のシステムを活用して教員間で情報共有し、緊急の対応を適切に行える体制を整える。 SCやSSW等、外部人材の有効活用を図る 外部機関との連携を図る 	<p>特別支援C.O.</p>
	<p>社会の中で自己実現するための支援の充実</p>	<p>「自立活動」の充実に向けた支援体制の整備</p> <p>行事への主体的な参加 生徒会活動の充実</p> <p>進路面談や外部機関との連携による進路実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の目標達成や単位修得のために指導・支援の方法を研究する。 個別の教育支援計画を作成する。 アドバイザー等、外部人材の有効活用を図る 生徒アンケート「行事に積極的に参加した」40%以上 就職支援員やジョブサポーターティーチャーの活用 外部機関の活用(就労支援) 	<p>自立活動委員会 生徒進路</p>
<p>ウ</p>	<p>ICTを活用した学習指導や放送教育の活用促進</p>	<p>オンライン学習講座の整備について検討する</p> <p>分かりやすい学習指導を目指した活用を研究する</p>	<p>令和6年度から活用するため以下の準備を完了する</p> <ul style="list-style-type: none"> Google アカウントの配布準備 学習支援ツールの研究 環境整備や教員生徒への研修 円滑な運用を目指し、環境を整備する。 	<p>情報教務DX推進委員会</p>

様式第1号

	成績処理システムの円滑な運用	成績処理システムへの入力など業務を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・随時マニュアルの改訂を行う。 	
	ICTを活用した校務効率化	<p>緊急時に加え、一斉メールによる日常的な情報発信を実施</p> <p>Google アカウント等の活用を研究する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒登録率 100% (入学生) ・一斉メール配信を月に2回以上 ・校務への活用を年5回以上試行する 	情報
エ	広報活動の促進	<p>中央高通信やホームページ等を活用した情報を積極的に発信する</p> <p>広報用資料の更新を検討する</p> <p>通信制への理解を深めるため、入学説明会、中学校訪問(秋)を実施する 外部の学校説明会へ積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央高通信を年間4回発行する。 ・動画、パンフレット、チラシを必要に応じて更新する。 ・入学説明会は各キャンパスで年間3回延べ9回実施する。 ・中学校訪問は各キャンパス20回延べ60回以上実施する。 ・外部への参加は3キャンパス合計年間20回以上実施する。 	<p>総務</p> <p>入試検討委員会</p>
オ	教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のキャリアステージを意識した研修の充実 ・校内外の研修を通して教職員の資質・能力等を向上させる ・キャンパスの実情に合わせた研修を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が計画的に研修を実施する ・全教職員による校内研修を3回以上実施する。 ・教員が受けた研修を他の教員に伝達する機会を2回以上設ける。 	研修 全教職員
	コンプライアンス遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、情報管理を徹底する ・予算を適正に編成・執行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故、誤送事故ゼロを達成する。 ・予算の編成、執行を適正に行う。 	全教職員
	業務の精選と効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容が見える化し、業務見直しや精選を行う。 ・ICTを活用した業務の効率化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌で業務マニュアルを作成 ・業務の精選・改善・効率化を実施した教員が80% ・校務にクロームブックを活用した教員100% ・ICT活用が「できる」「ややできる」と答える教員90%以上 	全教職員
	生徒の安心安全確保のための防災意識の向上と対策の充実	<p>キャンパスの実情に合わせた実践的な防災・安全指導を実践する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他校、他課程や、地域との連携を図る。 ・教科指導を通し防災意識の向上を図る。 	総務 各教科

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。